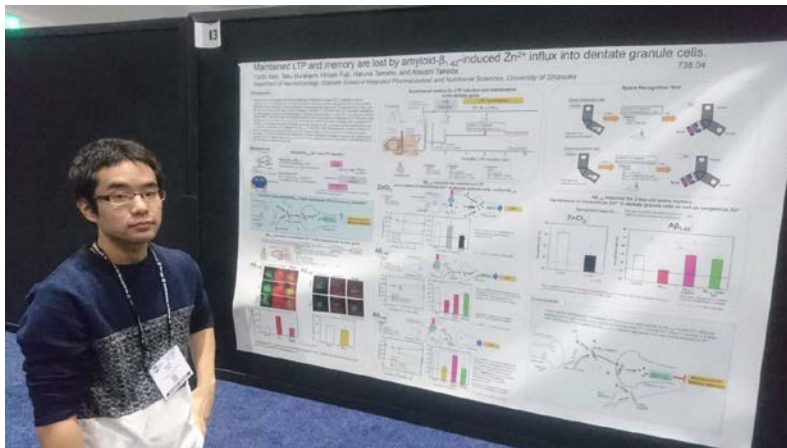


Neuroscience 2018 にてポスター発表

2018年11月3日から7日にかけてアメリカ合衆国カリフォルニア州・サンディエゴにて開催された「Neuroscience 2018」に参加しました。この学会は神経科学を中心とした研究に関する国際学会です。

今回、私は「Maintained LTP and memory are lost by amyloid- β_{1-42} -induced Zn^{2+} influx into dentate granule cells. (維持された LTP や記憶はアミロイド β_{1-42} に誘発される歯状回顆粒細胞への Zn^{2+} の流入によって消失する)」という題目でポスター発表しました。アルツハイマー病の原因物質と考えられているアミロイド β (A β) は、体内で凝集し可溶性オリゴマーを形成することで強い神経毒性をもち、亜鉛は A β_{1-42} と結合し、その凝集を促進します。当研究室では海馬の亜鉛が記憶の形成に重要であることを報告してきました。本研究ではラット海馬神経細胞にて、A β_{1-42} と細胞外亜鉛が結合し細胞内へ流入することで細胞内亜鉛が過剰に増加することで長期増強 (LTP) の障害を介して記憶が消失することを明らかにしました。初の国際学会でしたが自分の発表ではうまく伝えられないことが多く己の英語能力の低さに悔しさを覚えました。しかし一方で、他の参加者の発表では A β だけに関することでも当研究室とは異なった着眼点の研究が、様々な手法で行われていることが発表されていました。行き詰ってしまっていた時や次のステップへの新たなヒントを得ることができ、良い刺激となりました。今回の経験を活かし、今後の研究室生活をより豊かなものにしていきたいと思えます。



薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 統合生理学分野
博士前期課程2年 佐藤 祐一